

木知原の今昔!

1.5号:5・6・9

「地蔵祭り」が近づきましたので「地蔵尊」と「地蔵祭」を2回に渡って話題にしました

お地蔵さんはなぜ誰からも好かれているの?

地蔵尊は「**地蔵菩薩**」といって仏様「如来・菩薩・明王・天部」の一尊で如来仏に次ぐ“**人気ナンバー2**”の仏様と言ったところでしょう。

□ 地蔵尊は仏様でありながら宗派を超えて親しまれているその訳は?

- ① 石造りである(木像もあるが少ない)
- ② 外に祀られている(街道脇・難所・追分)
- ③ 触れることができる(親しみが持てる)

この**石・外・触**の特徴が庶民にとって“**身近な仏様**”的な存在になったのでしょう。



地蔵信仰は都を中心に広がったので、関東以北や四国九州地方では西美濃地方ほどに定着していないそうである。

地蔵祭りは日本中で行われていると思っていたが木知原は都に近いから盛んなのでしょう。

木知原のお地蔵さん

は、江戸時代の**延享2年(1745年・八代将軍吉宗の時代)**に「**村の守護神**」として公民館の西側(旧街道の分岐点)に祀られた。その後一度公民館の西下辺りに移され、明治40年に現在の場所へ移されている。

♥ 現在の場所へは子供たちがお駄賃をもらって運んだというからなんともほほえましい♥

《 守護神地蔵尊 》

村内には11体の地蔵尊が祀られているが、**村で祀った地蔵尊**はこの一体のみで他は有志の寄進によるものである。

♥ **守護神**地蔵(道祖信仰)とは「**地蔵様は疫病や悪しきものから村を守り、村人の願いは何でも聞いてくださる**」との信仰なので村人の誰からも好かれるのでしょう。

♥ 「**遠くの仏様より近くの地蔵様**」も人気の秘密かな?



《 像容 》

- ㊦ **螺髪**(らぼう)がない-毛が無い
“皆さんの近くにいますよ”
- ㊧ **白毫**(びやくごう)-あらゆる世界を照らす(仏の偉大さを現す)
- ㊨ **錫杖**(しゃくじょう)-悪霊を退ける護身用杖で**鳴杖**とも言う
- ㊩ **宝珠**(ほうじゅ)-いろいろな物が自由に出せる(打ち出の小槌)
如意宝珠とも(五重の塔の先端)



まあまあ こわくないですから

さあ なんでも話して・聞いてあげるよ

◇ 地蔵信仰論は諸説あるが ◇

地蔵信仰は中国から伝来。釈迦入滅後から弥勒菩薩が誕生までの間“**死後の世界の苦しみを救う菩薩**”として信仰されていた。

□ 日本の地蔵信仰は時代とともに変化してきたが、その経緯は凡そ下記のようなのである。

- 奈良時代 (**死後の世界の安楽**)… 華やかな生活の貴族が死後の不安を取り除く
- 平安時代 (**現世でのご利益**) … 死後より現世での願い成就(現世利益)
- 江戸初期 (**地獄の子を守る**) … 賽の河原・よだれかけ信仰(地蔵祭りは子供の祭り)
- 江戸中期 (**村と村人を守る**) … 道祖伸信仰(木知原の地蔵尊はこの頃に祀られた)

♥ 貴族の間で始まった地蔵信仰が江戸時代の中頃に庶民の間にも広がり今日に至っている。

地蔵尊像をじっくり眺めてみましょう。穏やかな表情で思わず手が合わさりますヨ!